

令和3年度 ワカメ養殖情報第2号 (令和3年10月21日)

- ・10月5～12日に岩手丸が実施した沿岸定線海洋観測時の0海里表面の栄養塩は、黒埼6.1 $\mu\text{g/L}$ 、トドヶ埼3.0 $\mu\text{g/L}$ 、尾埼5.4 $\mu\text{g/L}$ 、椿島0.7 $\mu\text{g/L}$ でした(図1)。
- ・10海里地点の栄養塩が11月中旬に20 $\mu\text{g/L}$ 以上となる確率は、黒埼35～83%、トドヶ埼68～80%、尾埼42～69%、椿島60～68%と予測されました(図2)。
- ・船越湾吉里吉里漁場で10月19日に測定した表面の栄養塩は11.3 $\mu\text{g/L}$ でした。
- ・栄養塩や水温の変化に注意し、巻き込み作業の準備を進めてください。

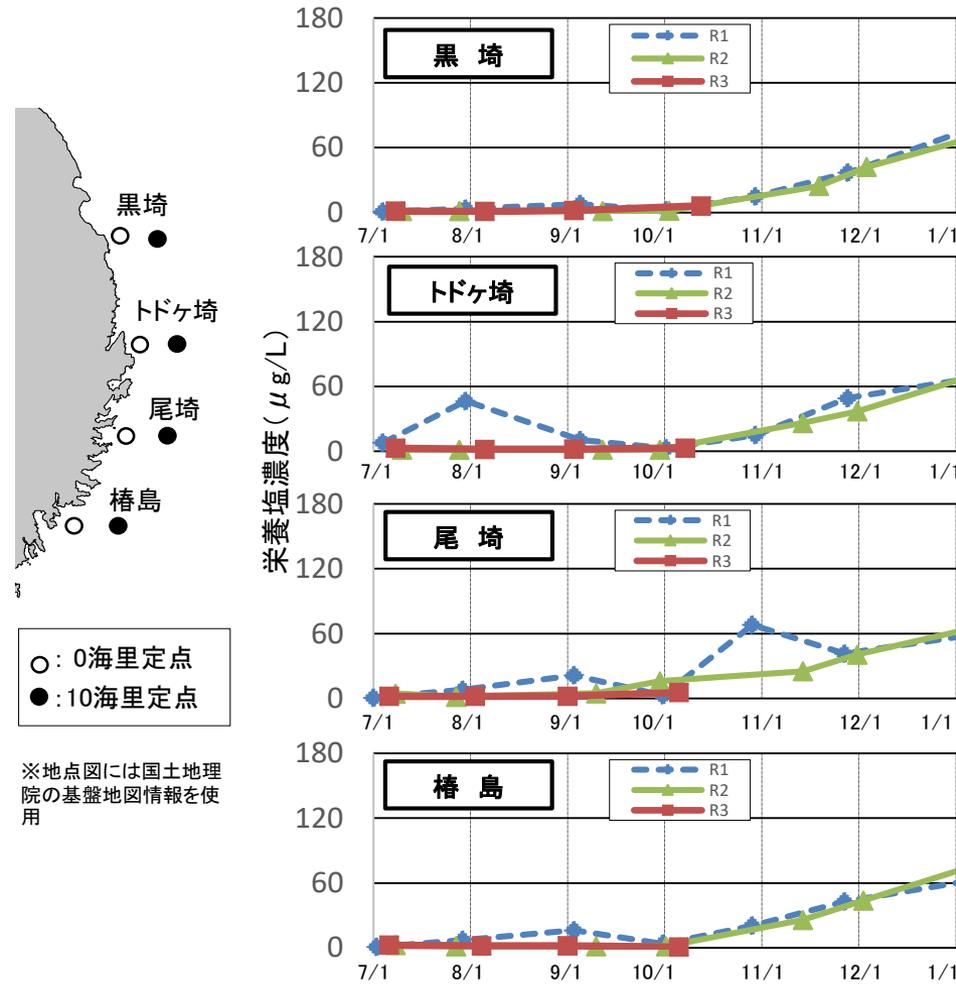


図1 0海里での栄養塩濃度の推移

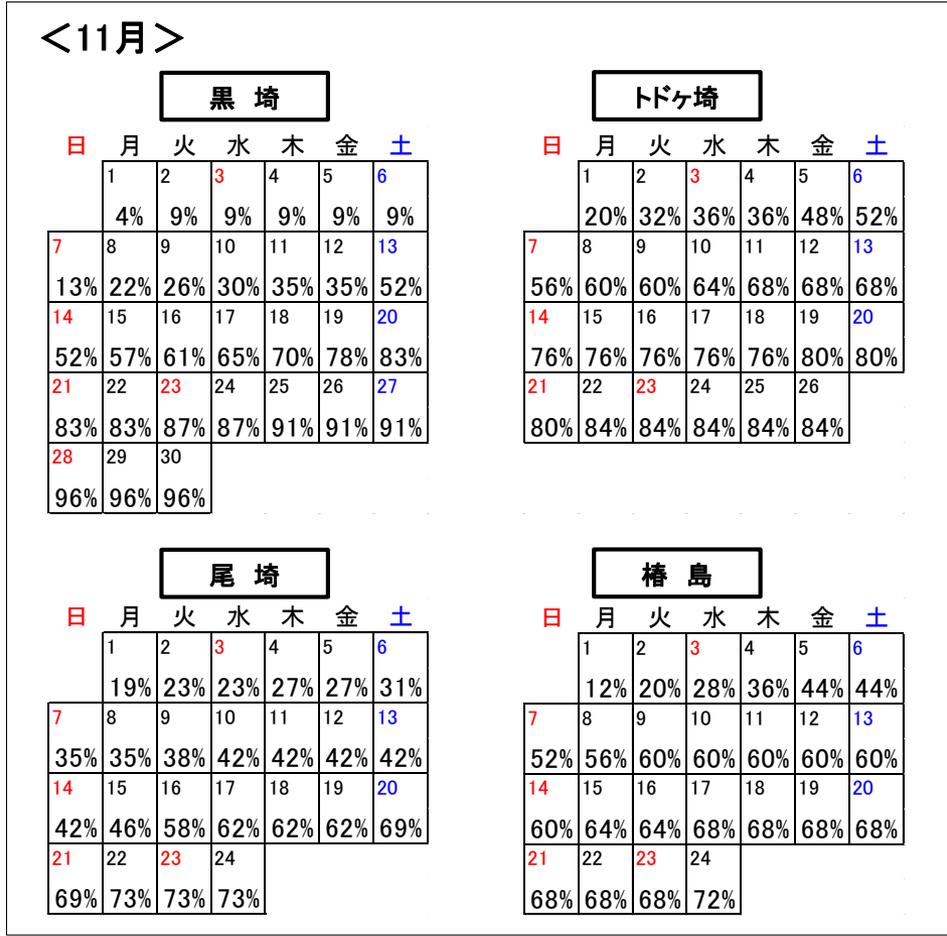


図2 栄養塩が20 $\mu\text{g/L}$ 以上となる確率(予測結果)

※栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発は、農林水産省 農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。
 ※本予測は、栄養塩を分析してから50日先まで可能です。

